

## 復興へ 頑張ろう！ みやぎ 県政紹介 シリーズ②

# 未来を担う子どもたちのために

東日本大震災により家族や友人を亡くしたり、津波の被害を目撃したりした子どもたちは、心に深い傷を負いました。

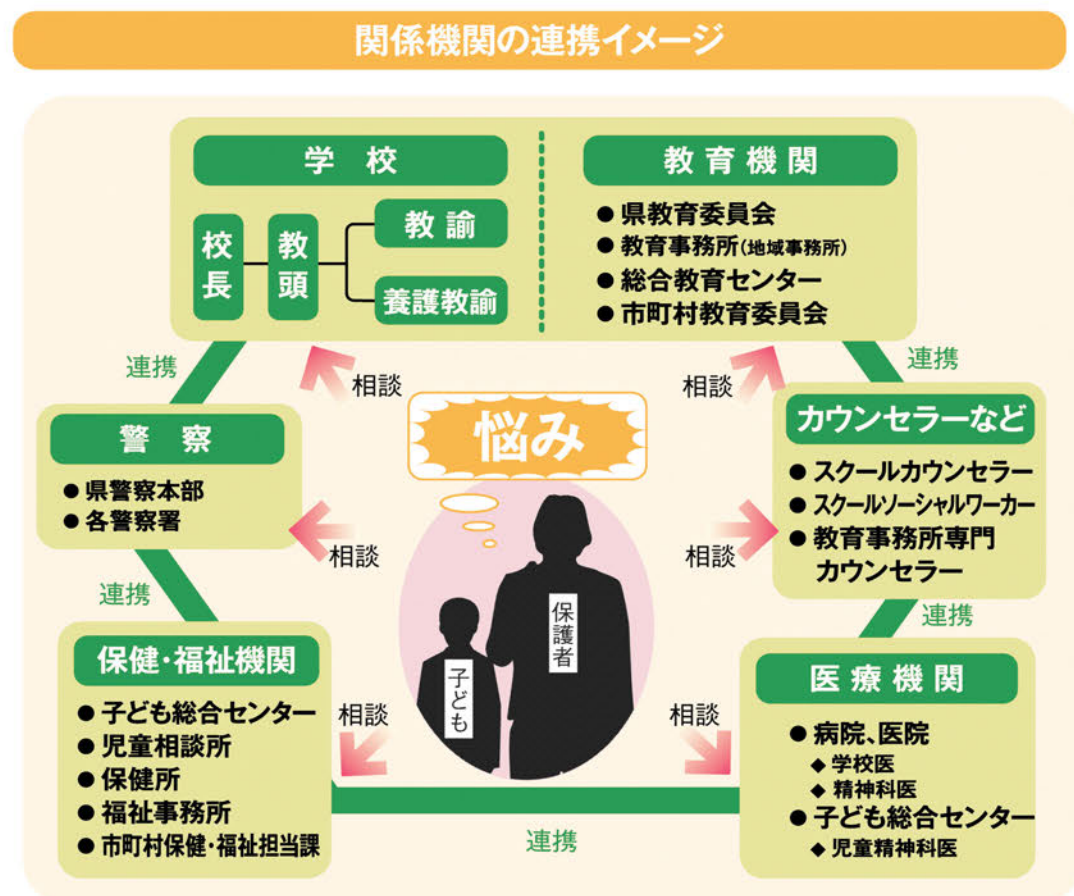
さらに、時間の経過とともに、家庭環境や生活環境が複雑化してきており、生活ストレスによる心の問題の増加も懸念されています。

このことから、県では、未来を担う子どもたちを支援する取り組みを継続的にを行っています。

## 心のケアの充実のために

震災を経験した子どもたちの心の傷は、個人個人で違うことから、それぞれの子どもたちに応じた支援を長期的、継続的に取り組む必要があります。特に、心のケアに取り組むに当たっては、子どもたちの心の変化をいち早く把握し、迅速かつ組織的に対応することが重要です。

このことから県では関係機関と緊密な連携を図り、子どもたちを支援しています。



## スクールカウンセラーによる支援



## 被災地の巡回支援と子どもに関わる方への支援

県では、児童精神科医、臨床心理士、保健師などで構成する「子どもの心のケアチーム」を組織し、被災地を巡回しながら、子どもたちの心に関する相談に対応するほか、必要に応じて医療的なケアを行っています。

また、直接子どもたちと接する機会が多い市町の保育士などに対する研修会の開催や児童精神科医によるアドバイスなども行っています。

今後ともこれらの活動を継続し、きめ細かい心のケアを行うとともに、相談・支援体制の一層の充実を図ります。

# 子どもたちを支え続けます

## 子どもに関わる大人を支援

「ケア宮城」代表・宮城学院女子大学名誉教授  
畑山みさ子さん



宮城県沿岸部の小中学校は東日本大震災の津波で被災し、被害を免れた学校は避難所になった。被災地では混乱した中で新学期を迎えようとしており、子どもたちのために、学校現場を支える教員の心のケア支援が必要だった。

震災1カ月後の4月半ば、畑山さんを中心として県内在住の学校心理士、臨床発達心理士、臨床心理士の有志により教員支援の連携組織「ケア宮城」を結成した。震災後の子どもたちの心に関して理解を深めるため、研修会を開催するのが目的。ケア宮城から支援の申し出を受けた県教委が研修会開催を即座に受け入れたことから、活動を開始した。

「ふだん子どもに接する人が適切に関われば、ケアは効果的。子どもは身近にいる大人の影響を受けます。子どもの心が安定するには、大人の心が安定するように支援する必要があります」と、畑山さんは研修の狙いを話した。

2011、12年度で教職員と保護者を対象にした研修会を計88回開いた。保育士や子ども支援のNPOなどからも開催要望があり、それらを含めると100回を超えた。研修はワークショップを重視し、「傾聴」の実践などを交えて指導した。

被災者に対する「心の支援」を要約したガイドブックも作成。被災者支援の指針として重用されている。

ことは研修の要望が減ると思われたが、既に二十数回も予定が入っている。「阪神大震災では子どもの心理相談件数が4年後まで増えたといえます。研修を閉じるのはまだ早いのかもしれません」

## 東日本大震災みやぎ子ども育英募金の受け入れについて

東日本大震災では、多くの子どもたちが被災し、また、親を失った子どもたちなども多数確認されています。「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」は、こうした子どもたちが、安定した生活を送り、子どもたちの希望する進路選択を実現できるよう、支援するための資金などに活用するものです。

募金の受け入れは、引き続き行っておりますので、皆さまの温かいご協力をお願いします。

※寄付金の受け入れ方法など詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

●お問い合わせ 県子育て支援課 022(211)2528  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/>

## 東日本大震災みやぎ子ども育英基金による支援事業のお知らせ

震災で保護者を亡くされた子どもたちが安定した生活を送り、希望する進路選択を実現できるよう、支援金または奨学金を給付しています。

- 対象年齢／震災時などに22歳以下の方
- 支援金、奨学金の種類／①月額金：就学区分に依り1～3万円②一時金：入学・卒業時に区分に応じ10～60万円
- ※詳しくは、下記へお問い合わせください。

●お問い合わせ 未就学児：県子育て支援課 022(211)2633  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/ikueikikin-misyuugakuji.html>  
●お問い合わせ 小学生～大学生など：県教育庁総務課 022(211)3611  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/kyouiku/ikueikikin.html>

## 悩む子ども適切に見立てる

宮城県臨床心理士会スクールカウンセラー担当理事  
高橋総子さん



東日本大震災では、子どもたちが心に深い傷を負ったことから、高橋さんらは子どもの相談に乗る必要性を直感した。震災直後から自ら被災地に赴きスクールカウンセラーとして子どもの話を聞くとともに、全国から集まったカウンセラーの仕事積極的にサポートした。

県内の臨床心理士にスクールカウンセラーとしての被災地支援を呼び掛けたところ、すぐに100人余りが駆け付けた。チームを組んで被災地の学校、避難所などを回ったが、それでも人手が足りない。四国や九州などからも参集したカウンセラーが県単位でチームを組み、補ってくれた。

「知らない土地を奔走してくれ、本当に助かりました。各地のスクールカウンセラーの絆支援は今も続いています」

かつてない規模の震災、津波を体験した児童生徒の心の傷は簡単に癒えない。幼児や低学年児は、まだ言葉で表現しきれない漠然とした不安を抱えている。

「スクールカウンセラーはあくまで黒子。上から目線ではなく、子どもと学校、地域を見つめて個別に関わる必要があります。子どもに何が起きているか適切に見立て、必要な手だてを講じることが大切です」

スクールカウンセラーは、「つなぐ」役割の重要性も肝に銘じている。子どもと保護者、先生をつなぎ、家庭と学校を結び付ける。安心、安全な学校づくりを手助けしながら、支えの必要な子どもに寄り添い続ける。

# 県からのお知らせ

## 宮城県職員採用選考考査

- 職種・採用予定人員／①児童自立支援専門員・1人程度②職業訓練指導員(自動車整備)・1人程度③獣医師・10人程度④研究(化学系)・1人程度
- 給与・待遇等／県の規定による
- 第一次考査日／9月29日(日)
- 申込受付期間／8月16日(金)～9月6日(金)(消印有効)
- 受考申込書／県庁1階総合案内などで配布(③については8月9日以降に配布)
- 採用予定日／平成26年4月以降
- ※詳しくは、下記へお問い合わせください。
- ◎県人事課 ☎ 022(211)2227

## 県教育委員会職員採用選考考査

- 職種・採用予定人員／①埋蔵文化財担当技術職員・2人程度②海技従事者・2人程度
- 給与・待遇等／県の規定による
- 第一次考査日／9月29日(日)
- 申込受付期間／8月16日(金)～9月6日(金)(消印有効)
- 受考申込書／県教育庁総務課、県各教育事務所などで配布
- 採用予定日／平成26年4月以降
- ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- ◎県教育庁総務課 ☎ 022(211)3638  
<http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/>

## 指定管理者募集

県の施設「東京エレクトロンホール宮城(県民会館)」はか17施設を県に代わって管理する「指定管理者」を募集します。

●対象／県民に良質なサービスを安定的に提供し、公平で効率的な施設管理をしていただける民間事業者や団体など

●募集期限／9月17日(火)  
※募集内容、応募方法など詳しくは、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

◎県行政経営推進課 ☎ 022(211)2239  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyokei/>

## 白石高等技術専門学校 ビジネスソフトウェア科 (6カ月コース) 学生募集

- 内容／各種ビジネスアプリケーションソフトに関する知識と技能の習得
- 対象・定員／求職活動中、ハローワークに相談しており、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる方・20人
- 訓練期間／9月11日(水)～平成26年3月10日(月)
- 申込期間／8月5日(月)～8月23日(金)
- 選考日／8月29日(木)(面接)
- 費用／受講料無料、教材費約2万8000円
- 申込先／各ハローワーク
- ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- ◎白石高等技術専門学校 ☎ 0224(35)1511  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/>

## 県業務・採用試験説明会

- 内容／県の業務や採用試験の説明、個別相談など
- 対象／平成25年度宮城県職員採用試験(主に短期大学卒業程度、高等学校卒業程度、警察官)の受験を検討されている方(申し込み不要)
- 日時／8月21日(水)午後1時30分～4時
- 場所／県庁2階講堂
- ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- ◎県人事委員会事務局職員課 ☎ 022(211)3761  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/>

## 保育士人材バンク設立に関するアンケートにご協力ください

保育士資格を取得しながら、さまざまな理由で保育の仕事に就いていない方の就労支援などを考えるため、アンケート調査を実施します。

県内にお住まいで、平成25年3月31日時点で宮城県に保育士登録されている方に、アンケート用紙などを送付しましたので、用紙が届きましたら、同封されている返信用封筒で8月31日(土)までに郵送ください。ご協力をお願いします。

◎県子育て支援課 ☎ 022(211)2529

## パーキンソン病医療講演会・相談会

- 内容／第1部：講演「パーキンソン病の特徴と治療」(講師：宮城県病院副院長 久永欣哉氏)第2部：相談会
- 対象／パーキンソン病患者・家族など
- 定員／60名(先着順)
- 日時／8月24日(土)午後1時～4時
- 場所／登米市役所南庁舎・南方総合支所
- 費用／無料
- 申し込み／8月16日(金)までに電話またはファクシミリにより下記へ
- ◎宮城県難病相談支援センター ☎ 022(212)3351 FAX 022(211)1781

## 中学校卒業程度認定試験

何らかの理由で義務教育諸学校に通えなかった人などが、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するための試験を行います。合格者には高等学校の入学資格が与えられます。

●試験日／10月28日(月)

●試験会場／県本町庁舎(漁信基ビル)702会議室

- 出願期間／8月28日(水)～9月13日(金)(消印有効)
- 出願先／文部科学省生涯学習推進課
- 受験案内／県義務教育課などで配布
- ※詳しくは、下記へお問い合わせください。
- ◎県義務教育課 ☎ 022(211)3642

## 「心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター」募集

- 内容／①作文の部②ポスターの部
- テーマ／①障害のある方とない方との心ふれあいの体験をつづったもの②障害のある方とない方との相互理解を促進するもの
- 対象／①小学生以上②小・中学生
- ※応募作品は、未発表のものに限りします。
- 応募方法／9月2日(月)(必着)までに郵送下記へ
- ◎県障害福祉課 ☎ 022(211)2538 ☎ 980-8570(住所不要)県障害福祉課

【仙台市にお住まいの方】

◎仙台市障害福祉協会 ☎ 022(266)0294 ☎ 980-0022

仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ8F

## 個人事業税の納付をお忘れなく！

今年個人事業税(第1期分)の納期限は9月2日(月)です。最寄りの金融機関、各県事務所またはコンビニエンスストア(金額30万円まで)で、忘れずに納付してください。納税通知書の発送は、8月15日(木)の予定です。

なお、第2期分の納期限は12月2日(月)です。個人事業税の納付は、口座振替にすると納め忘れがなく大変便利です。ぜひご利用ください。

◎各県事務所

◎県税務課 ☎ 022(211)2324

## 県議会 9 月定例会開催

9月3日(火)午後1時から、9月定例会の本会議が開会される予定です。本会議や委員会は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。

【ラウンジコンサート(開会初日)】

- 日時／9月3日(火)午後0時15分～45分
- 場所／県議会庁舎1階ラウンジ
- 出演／ベル・ヴァン仙台(オカリナアンサンブル)
- 曲目／チキチキパンパンほか
- ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- ◎県議会事務局総務課 ☎ 022(211)3571  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/>

## 悪質な詐欺にご注意を！

県内では、主に高齢者を狙った悪質な詐欺が増加しています。金融商品(未公開株や外貨などの取引や、キャンペーン情報の提供など「もうけ話」を持ちかけ、高額現金をだまし取る手口が代表的です。

また、架空の事実をつくり上げ、現金を請求する「架空請求詐欺」や、息子や孫をかたててお金をだまし取る「オレオレ詐欺」などの被害も増加していますのでご注意ください。

電話などで、このようなお金の話をされた時はまず詐欺と疑い、最寄りの警察署、または9110にご相談ください。

## 労務トラブルの解決を支援します

県労働委員会では、解雇、賃下げ、パワハラメントなど労働関係をめぐる労働者個人と使用者との間の紛争について、話し合いによる解決を支援しています。公益側・労働者側・使用者側を代表する3人のあつせん員が、中立的な立場で労務間の話し合いを取り持つことにより紛争の解決を目指します(費用無料、秘密厳守)。

※詳しくは、下記へご相談いただくか、ホームページをご覧ください。

◎県労働委員会事務局審査調整課 ☎ 022(211)3787  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tirou/kobetu-assen-1.html>

## 進めよう!家族でできる3R

リデュース  
発生抑制

リユース  
再利用

リサイクル  
再生利用

東日本大震災により発生した大量の災害廃棄物処理が進んできたことに伴い、廃棄物最終処分場の埋立可能容量が少なくなっています。今、私たちにできることは、毎日の生活から発生するごみを減らすことです。限りある資源を有効に活用するためにも、一人一人が協力してごみの3Rを進めることが大切です。

## マイバッグの利用

買い物での「マイバッグ利用」が、一番身近なリデュースの例として挙げられます。レジ袋を受け取らないことで、将来のごみ発生を抑制することができます。

## 使わないものの再利用

使わなくなったものでも、譲ったり、修理したりして長く使うことで無駄な買い物が少なくなります。フリーマーケットなどのリユースを推進するイベントも積極的に活用しましょう。

## グリーン購入

買い物をするとき、環境のことを考えて買うことをグリーン購入と言います。買う前に本当に必要なものかどうか考えることや、リサイクル商品を選んで買うことがごみの減量につながります。

## 生ごみの減量化

生ごみは水を多く含んでいるため、家庭で排出されるごみの中でも、重量で考えると大きな割合を占めています。堆肥にして園芸などに活用したり、水分を減らしたりするだけでも減量することができます。

## ごみの分別

ごみをリサイクルする上で、ごみの分別はとても重要です。ごみと一言で言ってもさまざまな材料から作られているため、きちんと分別をすることで、初めてリサイクルすることができます。

## ◎県循環型社会推進課

☎ 022(211)2649  
Eメール [junkan@pref.miyagi.jp](mailto:junkan@pref.miyagi.jp)  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/>